

学年		小笠原村立小笠原中学校 技術科2年 年間指導計画								
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
月	単元名	情報モラル(2)				系単元性の	小学校におけるコンピュータの基本的な操作や発達段階に応じた情報モラルの学習状況を踏まえ指導を行っていく。			
4	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	<ul style="list-style-type: none"> [D 情報の技術] ・[(1) 生活や社会を支える情報の技術について調べる] ・著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。 						つまずきやすいポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や肖像権についての知識や、情報モラルを理解し、情報を受信、発信できるようにする。 		
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・普段使用しているSNSを題材に具体的な事例を考えながら、正しい知識を学習できるようにする。 		
	評価規準									
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や情報モラルについて、正しい知識・理解をしている。 			思考・表現・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や情報モラルについて、自分で考え、適切に利用することができる。 		主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や情報モラルについて興味関心を持ち、授業に参加している。
		プリント・定期考査				発言・プリント				授業態度・プリント
月	単元名	本棚の製作(20)				系単元性の	第5・6学年算数「図形」や図工「材料や用具」などを踏まえながら表題の単元について考えていけるようにしていく。			
5 6 7 9 10	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	<ul style="list-style-type: none"> [A 材料と加工の技術] ・[(2) 生活や社会における問題を、材料と加工の技術によって解決する活動] ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等を行う。 ・材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。 ・本棚の部品加工、組立て及び仕上げができる。 						つまずきやすいポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・本棚の構造だけでなく、木材の性質を理解する。 ・安全な工具の使い方を理解し、実践する。 ・高い精度の木材加工を行う。 		
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・実物や実験を通して本棚の構造や木の性質を説明する。 ・動画作成や、実演をとおして、工具の安全な使い方を説明する。 ・動画作成や、実演をとおして、本棚の製作を行う。 		
	評価規準									
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ・木材や工具について、正しい知識・理解をしている。 ・木材加工の技術を実践している。 			思考・表現・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や工具の技術について、自分で考え、適切に利用することができる。 		主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> ・木材や工具の技術について興味関心を持ち、授業に参加している。
		プリント・定期考査・実習作業				発言・プリント・実習作業				授業態度・プリント・実習作業
月	単元名	身の回りの電気(13)				系単元性の	第3～6学年理科「電気の働き」などを踏まえながら表題の単元について考えていけるようにしていく。			
11 12 1 2 3	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	<ul style="list-style-type: none"> [C エネルギー変換の技術] ・[(1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動] ・[(2) 生活や社会における問題を、エネルギー変換の技術によって解決する活動] ・[(3) これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方を考える活動] ・電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関する基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解する。 ・テーブルタップ作製を通して、安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができること。 ・問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。 						つまずきやすいポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・目に見えない電気をイメージできないので、理解が難しい。 ・初めて電気製品を分解し、中を確認する生徒が大半であるので、仕組みを理解することが難しい。 		
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・水流モデルを使用し、電気をイメージできるようにする。 ・簡単な電気製品を作成することにより回路について理解できるようにする。 		
	評価規準									
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの変換について、正しい知識・理解をしている。 ・電気回路の技術を実践している。 			思考・表現・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換の技術について、自分で考え、適切に利用することができる。 		主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換の技術について興味関心を持ち、授業に参加している。
		プリント・定期考査・実習作業				発言・プリント・実習作業				授業態度・プリント・実習作業